

歯のけが・口のけが

お母様、こんな時は急いで小児歯科へ！

★歯をぶつけて抜けた時

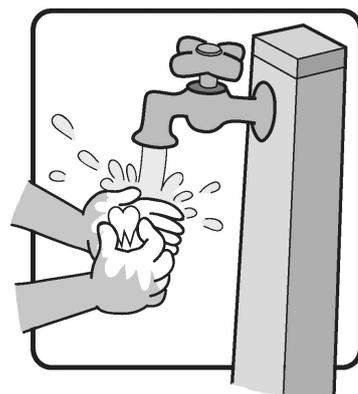
30分以内なら元通りになる可能性があります。
乳歯でも永久歯でもけがで抜けた歯は戻せます。
歯についた砂、土などをすばやく簡単に水で洗い流して下さい。

その時、歯の根は指などでさわらないで下さい。

もしできれば抜けた歯を元の場所へもどして受診して下さい。できない時は抜けた歯を牛乳にひたして受診して下さい。

牛乳がない場合は水でもかまいません。

乾燥させないことが大切です



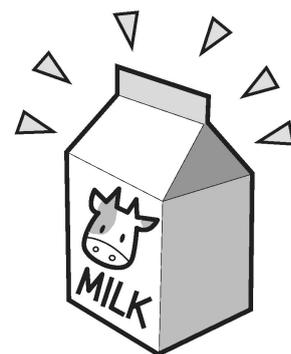
★歯がかけた時

かけらは持って行って下さい。

(おおきなかけらは接着できる場合があります。)

★歯が動いている時、めり込んだ時

さわらずにそのまま受診して下さい。



★ぶつけて口の中から血が出ている時

出血部位がわかれば血が止まるまで10分間押さえておいて下さい。
上唇の内側や歯肉、舌などのけがが多いようです。口の中から出血している時は歯のけがを伴っていることがあるので受診した方がよいでしょう。

★予防

☆指しゃぶり、おしゃぶりなどの癖は、できるだけ早めにやめさせましょう。指しゃぶりなどを長く続けるとケガをしやすい歯並びになることがあります。

☆はじ、歯ブラシなどを口にくわえて遊ばせないようにしましょう。

☆激しいスポーツをする時にはマウスガードを使用すると安全です。

個人個人の歯の形に合った弾力のあるマウスガード（マウスピース）は上顎の歯全体を覆い衝撃を吸収して歯をケガから守ります。装着することによって歯を保護します。

★ぶつけた後の影響（数週間から数ヶ月後に現れる場合があります） ・ ・

☆ぶつけた歯の変化

◎受傷後2週間くらして歯の色が黒ずんでくることがあります。

これは歯の神経が死んでしまったため歯の根の治療が必要になる場合があります。

◎1ヶ月以上して歯ぐきが化膿して腫れてくることがあります。

◎数ヶ月後に歯の根がとけ歯がぐらぐらしてくることもあります。

☆乳歯をぶつけた時の永久歯への影響

顎の骨の中では次にはえてくる永久歯が乳歯の下にもうできています。

◎永久歯のはえてくる方向がおかしくなることがあります。

◎永久歯の表面がでこぼこになったり、黄色の斑点ができ歯の質が弱くなる場合があります。

☆歯をぶつけた時には同時に頭をぶつけていることがあるので注意が必要です。